

# 神戸大学データ資料集2023 【抜粋版】

—データと資料が語る神戸大学の今の姿—



神戸大学データ資料集は、データを通して本学の特徴や状況を客観的な視点で把握することを目的に作成しています。過去からの推移や他大学との比較により、神戸大学の歩みや現状が分かりやすくまとめられています。

※他大学との比較では、国立大学法人運営費交付金「成果を中心とする実績状況に基づく配分」において、規模や組織体制の観点から設定されたグループのうち、グループ④及び⑤に属する、本学を含む**17大学で比較**を行っています。

【参考】

#### グループ④

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学のうち、指定国立大学

東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学

#### グループ⑤

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学

北海道大学、千葉大学、東京農工大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

## 目次 – 抜粋版 –

### 概要

1. 概要・ランキング … 1

### 教育

3. 学部一般選抜志願状況 … 3  
4. 入学状況 -学部- … 4  
5. 入学状況 -大学院- … 5  
7. 進路・就職状況 … 6

### 研究

11. 国際的な研究論文 … 10  
12. 科学研究費 … 12  
13. 日本学術振興会特別研究員 … 13  
14. 研究プログラムの採択状況 … 14  
15. 研究業績に関する主な受賞 … 15

### 産学官連携

16. 産学官連携状況 … 16

### 国際

20. 留学 … 18  
21. 海外大学との交流状況 … 19  
22. 外国人教員・研究者等交流状況 … 20

### 教職員

27. 教員 … 22

### 財務

29. 財務 … 23

完全版はウェブサイトでご覧いただけます。

神戸大学 データ資料集

検索

# 1. 概要・ランキング

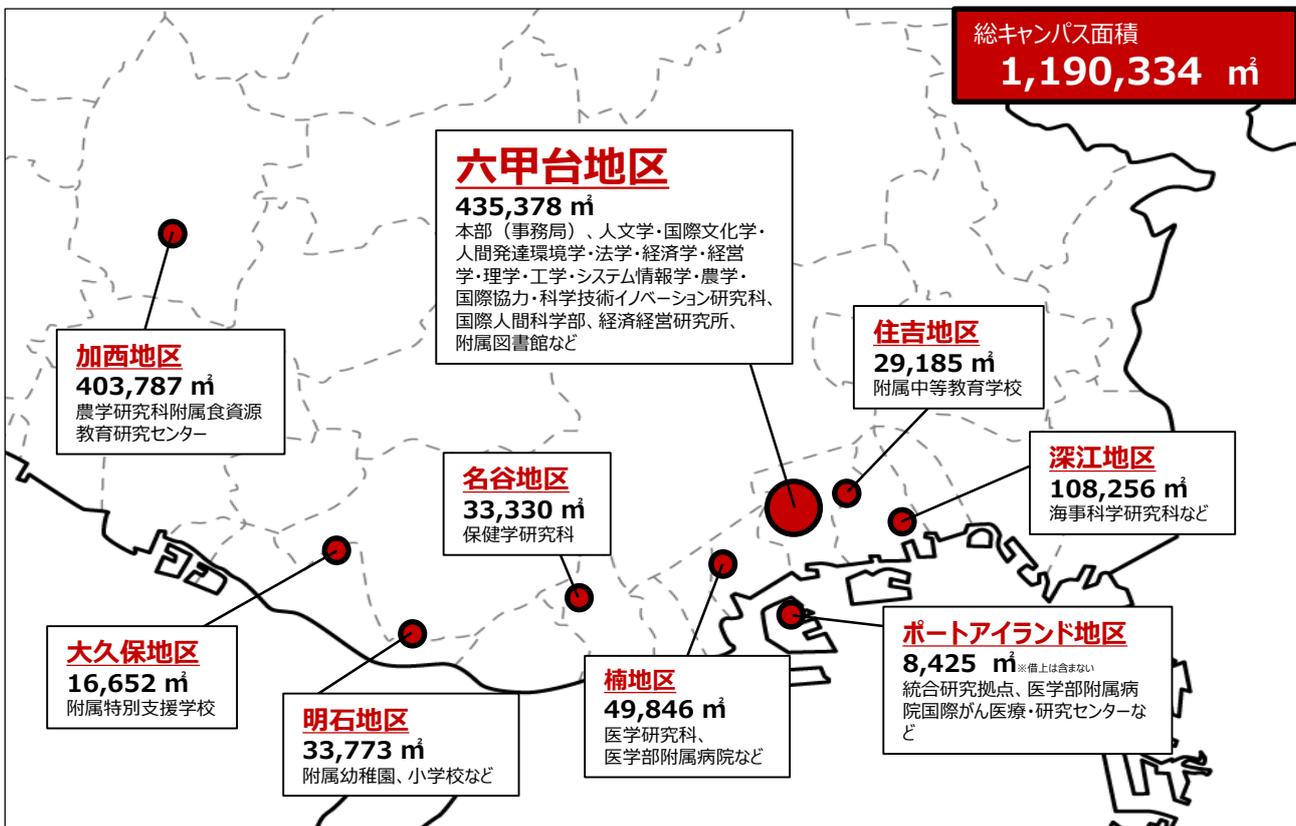
## 1-1 神戸大学の概要

2023年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学生等数	学部	2,670	2,721	10,639	11,411	(4,043)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,280	1,170	2,534	2,598	(916)
		博士課程・博士課程後期課程	403	310	1,293	1,557	(524)
		専門職学位課程	149	140	378	305	(84)
	合計	4,502	4,341	14,844	15,871	(5,567)	
	外国人留学生数	学部生 (内数)	大学院生 (内数)	研究生等	計		
	111	829	351	1,291	(646)		
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	44		1,280 [24]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,572 (承継内1,242)	110	2,593	4,275		
	女性教職員数	305	48	1,893	2,246		
	女性比率	19.4%	43.6%	73.0%	52.5%		
予算規模		2023年度 約786億円 (うち運営費交付金等 約206億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[ ]は、帰国子女数を内数で示す。  
 ※3：教職員数は休職者を含む。 ※4：教員数は役員を含む。

### ◆主要キャンパス◆



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス  
 [海外] 包括的海外拠点：神戸大学ブリュッセル拠点(ベルギー)、神戸大学北京拠点(中国)、神戸大学シアトル拠点(アメリカ合衆国)  
 海外拠点：神戸大学ポーランド拠点、神戸大学/パペシュ・ポヨイ大学国際協力センター(ルーマニア)、ハノイ神戸大学連絡拠点(ベトナム)、  
 神戸大学・北京外国語大学国際共同研究拠点(中国)、神戸大学・上海交通大学文理融合国際共同研究拠点(中国)

# 1-3 神戸大学の位置

## ◆17大学間の比較◆

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,252	11
東京大学	3,060	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,549	12
<b>神戸大学</b>	<b>2,530</b>	<b>10</b>
北海道大学	2,478	12
広島大学	2,386	12
東北大学	2,377	10
千葉大学	2,317	10
岡山大学	2,192	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,101	9
金沢大学	1,726	4
東京工業大学	1,068	6
一橋大学	955	5
東京農工大学	821	2
東京医科歯科大学	276	2

(2023)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	5,057	2,928	1,719	410	15
京都大学	3,798	2,353	1,111	334	18
大阪大学	3,026	2,023	923	80	15
九州大学	2,718	1,799	779	140	19
東北大学	2,689	1,801	768	120	15
筑波大学	2,508	1,831	611	66	7
名古屋大学	2,455	1,673	732	50	13
北海道大学	2,392	1,649	643	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
<b>神戸大学</b>	<b>1,832</b>	<b>1,280</b>	<b>403</b>	<b>149</b>	<b>15</b>
広島大学	1,624	1,119	455	50	5
千葉大学	1,375	993	322	60	7
岡山大学	1,126	789	268	69	9
金沢大学	935	654	251	30	8
一橋大学	788	452	138	198	6
東京農工大学	776	590	146	40	4
東京医科歯科大学	359	131	228	-	2

(2023)

## ◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	28
2	京都大学	46
3	大阪大学	80
4	東京工業大学	91
5	東北大学	113
6	九州大学	164
7	名古屋大学	176
8	北海道大学	196
9	早稲田大学	199
10	慶應義塾大学	214
11	筑波大学	355
12	豊田工業大学	446
13	広島大学	472
<b>14</b>	<b>神戸大学</b>	<b>476</b>
15	一橋大学	481

(2023-2024)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	14
2	京都大学	17
3	東北大学	20
4	大阪大学	24
5	東京工業大学	27
6	名古屋大学	30
7	九州大学	31
8	北海道大学	32
9	早稲田大学	43
10	慶應義塾大学	45
11	筑波大学	55
<b>12</b>	<b>神戸大学</b>	<b>76</b>
13	広島大学	97
14	一橋大学	119
15	立命館大学	125

(2023-2024)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	27
2	京都大学	39
3	名古屋大学	101-150
4	大阪大学 東京工業大学	151-200
6	北海道大学 東北大学 筑波大学	201-300
9	慶應義塾大学 九州大学 沖縄科学技術大学院大学	301-400
12	広島大学	401-500
13	<b>神戸大学</b> 岡山大学	501-600
15	千葉大学 北里大学 大阪公立大学 信州大学 東京理科大学	601-700

(2023)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	29
2	京都大学	55
3	東北大学	130
4	大阪大学	175
5	東京工業大学	191
6	名古屋大学	201-250
7	九州大学	301-350
8	北海道大学 筑波大学	351-400
10	東京医科歯科大学	401-500
11	会津大学 広島大学 順天堂大学 慶應義塾大学 <b>神戸大学</b>	601-800
16	千葉大学 熊本大学 京都府立医科大学 岡山大学 東京農工大学 東京医科大学 早稲田大学 横浜市立大学	801-1000

(2023-2024)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	8
2	京都大学	18
3	東北大学	34
4	大阪大学	47
5	名古屋大学	49
6	東京工業大学	56
7	九州大学	108
8	東京医科歯科大学	112
9	筑波大学	131
10	北海道大学	134
11	横浜市立大学	142
12	関西医科大学	164
13	産業医科大学	168
14	藤田医科大学 順天堂大学 慶應義塾大学 <b>神戸大学</b>	201-250

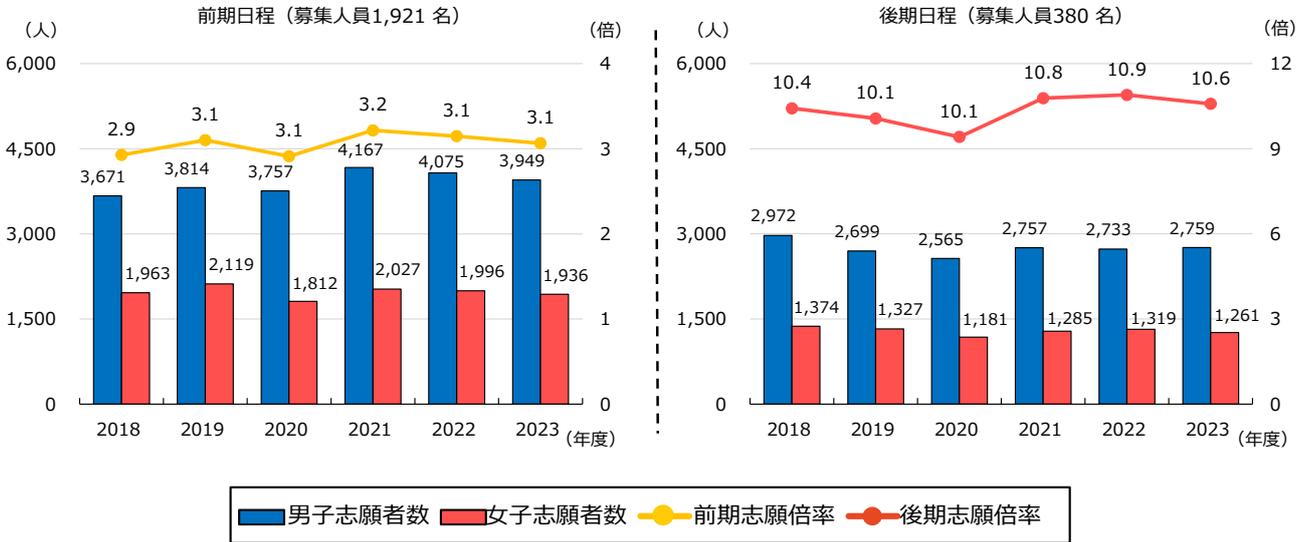
(2023)

出典:各発表機関ウェブサイト  
※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。  
(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

# 3. 学部一般選抜志願状況

## 3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 前期日程（左図）は3倍程度、後期日程（右図）は10倍程度の志願倍率で推移している。
- 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。



※各日程の募集人員は2023年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

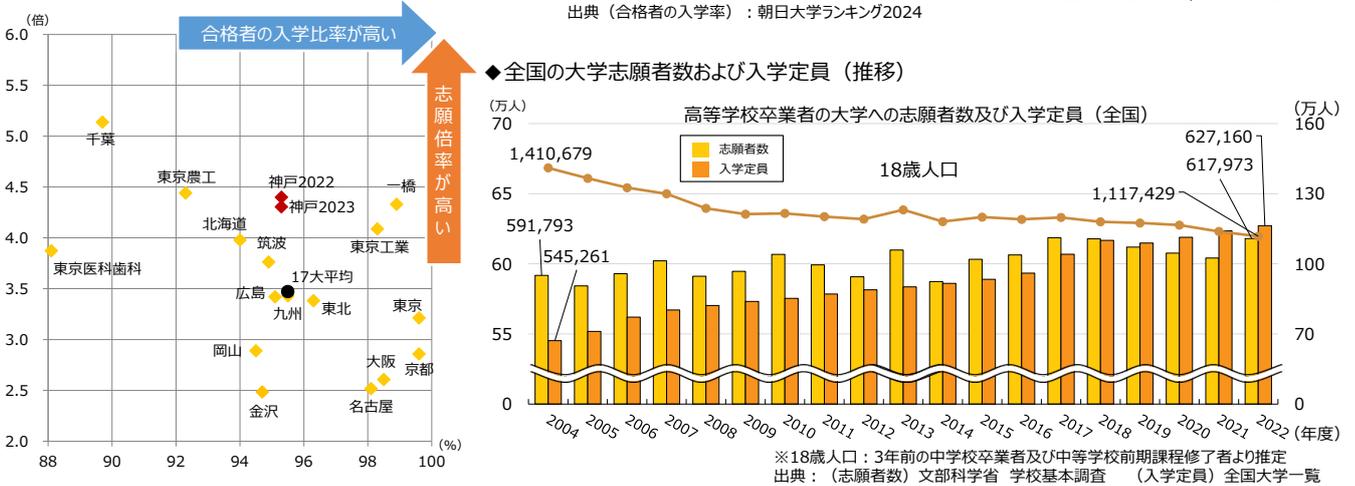
2018 前期：1,925名 後期：417名      2020 前期：1,913名 後期：398名      2022 前期：1,929名 後期：372名  
 2019 前期：1,913名 後期：400名      2021 前期：1,926名 後期：375名

## 3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

### ◆17大学の状況（2022年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	東京医科歯科	東京農工	東京工業	一橋	金沢	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	17大学平均	(参考) 神戸2023
募集人員	2,392人	1,693人	1,474人	2,069人	2,960人	227人	724人	930人	885人	1,539人	1,739人	2,649人	2,878人	2,301人	1,619人	2,015人	2,243人	1,785人	2,301人
志願者数	9,516人	5,724人	5,545人	10,631人	9,507人	879人	3,215人	3,802人	3,832人	3,823人	4,377人	7,570人	7,501人	10,123人	4,678人	6,890人	7,692人	6,194人	9,905人
志願倍率	4.0	3.4	3.8	5.1	3.2	3.9	4.4	4.1	4.3	2.5	2.5	2.9	2.6	4.4	2.9	3.4	3.4	3.5	4.3
合格者の入学率	94.0%	96.3%	94.9%	89.7%	99.6%	88.1%	92.3%	98.3%	98.9%	94.7%	98.1%	99.6%	98.5%	95.3%	94.5%	95.1%	95.5%	95.5%	95.3%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：令和4年度国公立大学入学者選抜確定志願状況，文部科学省HP  
 出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2024

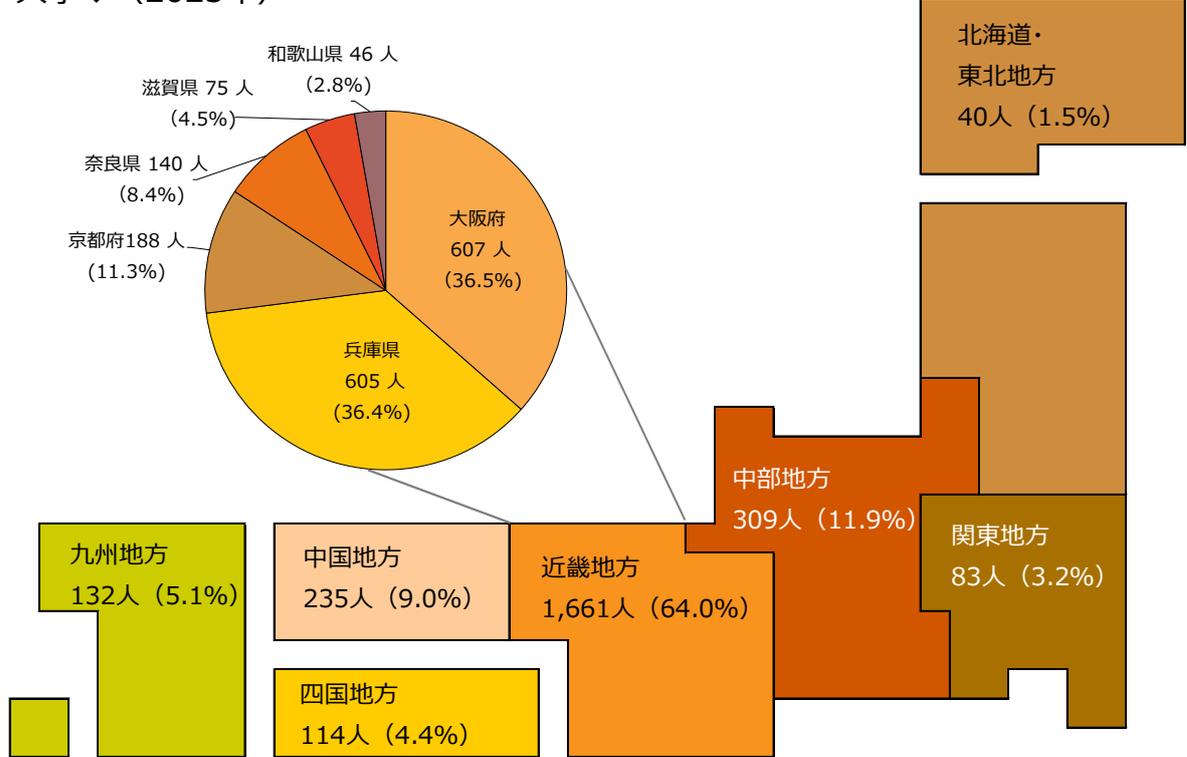


# 4. 入学状況 - 学部 -

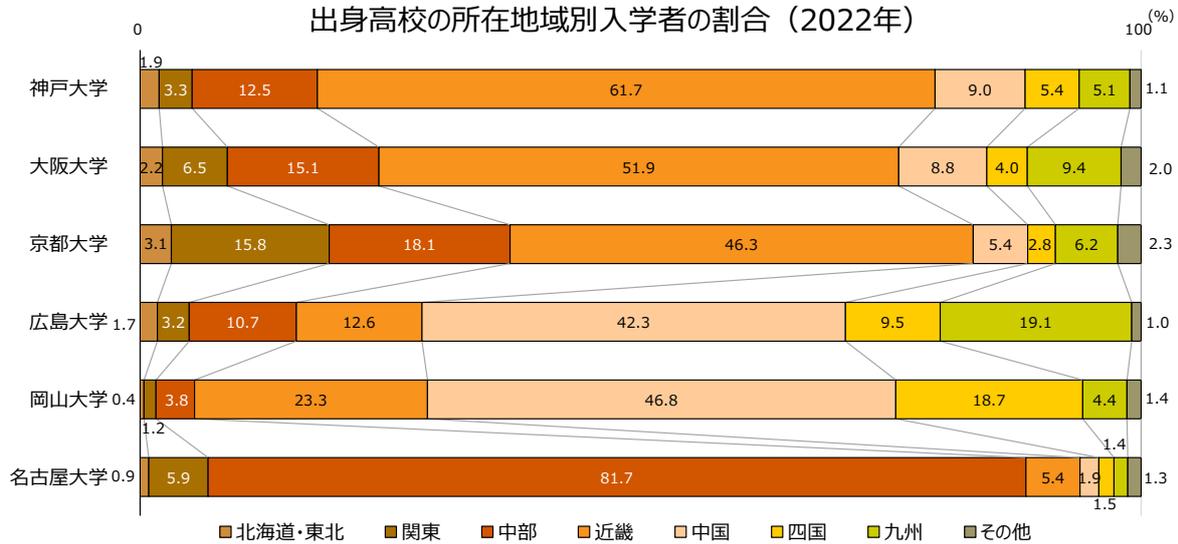
## 4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、その詳細を見ると（円グラフ）、7割以上が大阪府 または兵庫県に所在する高校の出身者である。

### ◆神戸大学◆（2023年）



出身高校の所在地域別入学者の割合（2022年）



- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

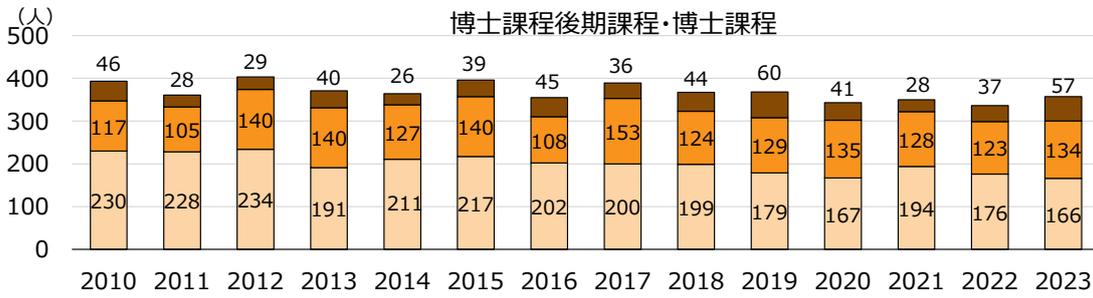
出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」  
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

# 5. 入学状況 — 大学院 —

## 5-1 大学院入学状況

### ◆神戸大学◆

□ 本学出身 □ 他学出身 ■ その他（外国の学校を卒業した者等）

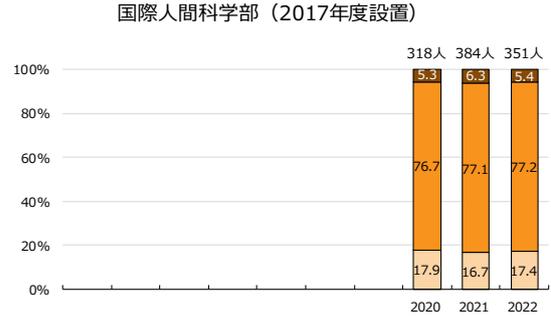


# 7. 進路・就職状況

## 7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

- 文科系の学部においては就職する学生の割合が高く、理科系の学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- 2005～2009年度の平均と比較すると、文学部、法学部、経済学部、経営学部、工学部では就職者の割合が上昇し、医学部保健学科では進学者の割合が上昇している。

### ◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

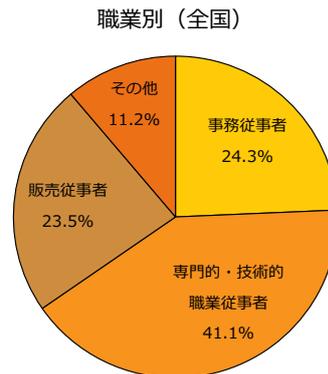
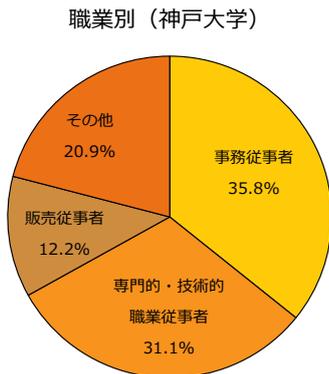
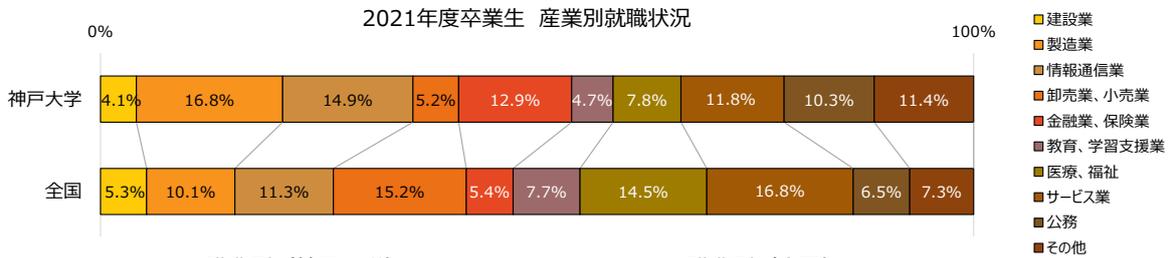




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

## 7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「公務」に就職している割合が高い。



出典：文部科学省 学校基本調査

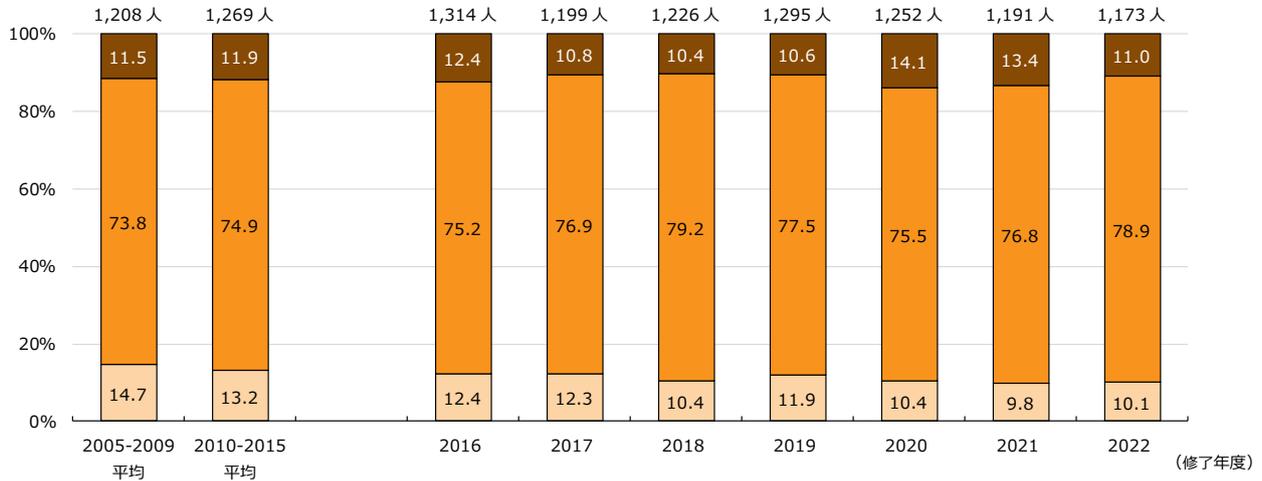
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

## 7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

進学者 就職者 その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。  
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。  
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「臨床研修医」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

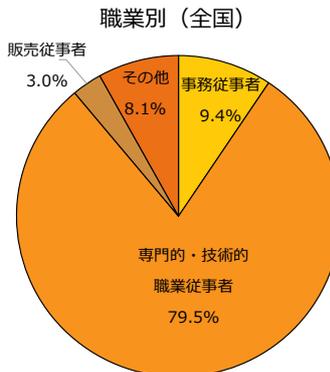
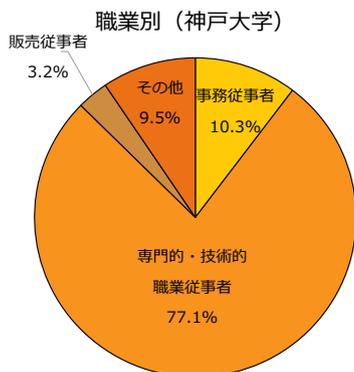
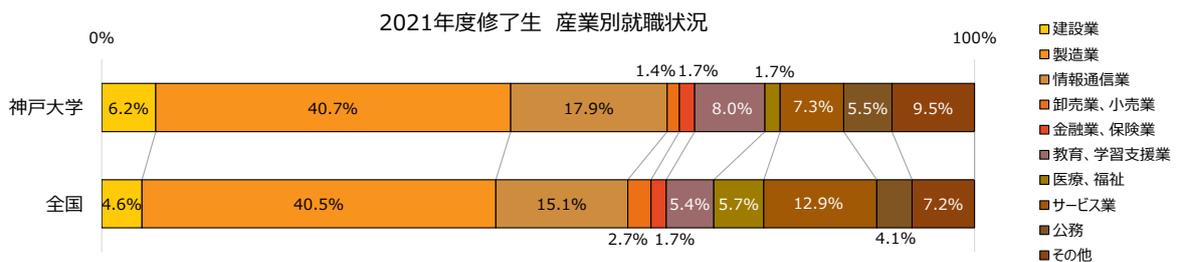
### 神戸大学



※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

## 7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 産業別、職業別ともに概ね全国と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

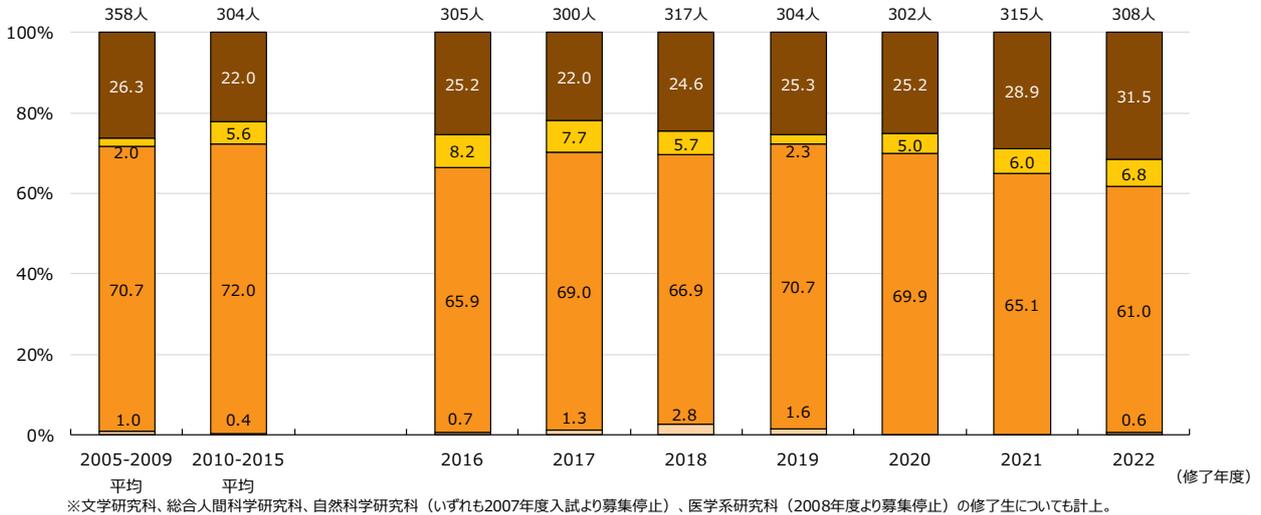
## 7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況

○ 研究科によって傾向が異なるが、全体的には就職者の割合が低下している。

■ 進学者 ■ 就職者（自営、雇用期間1年以上でフルタイム相当）  
■ 一時的な仕事に就いた者等（雇用期間1年未満） ■ その他

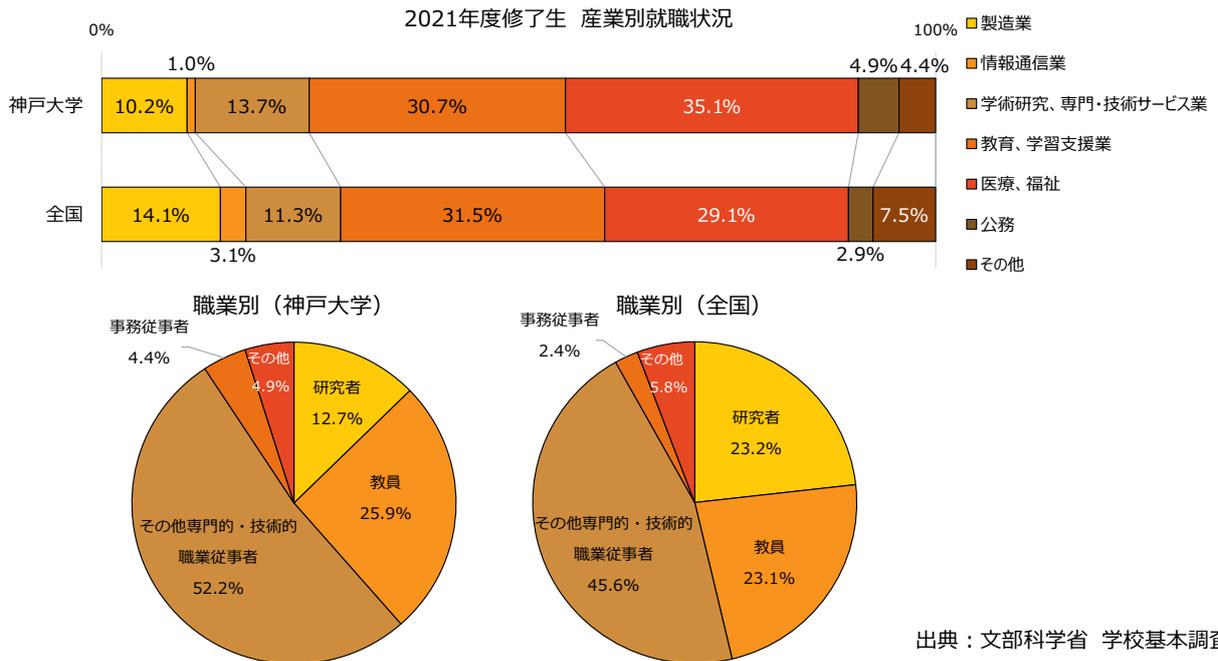
※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。  
 ※「一時的な仕事に就いた者等」とは、「（有期雇用労働者） - （雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者） + （臨時労働者）」である。  
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。  
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

### 神戸大学



## 7-9 博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「医療、福祉」の割合が多く、職業別では「研究者」の割合が少ない傾向にある。

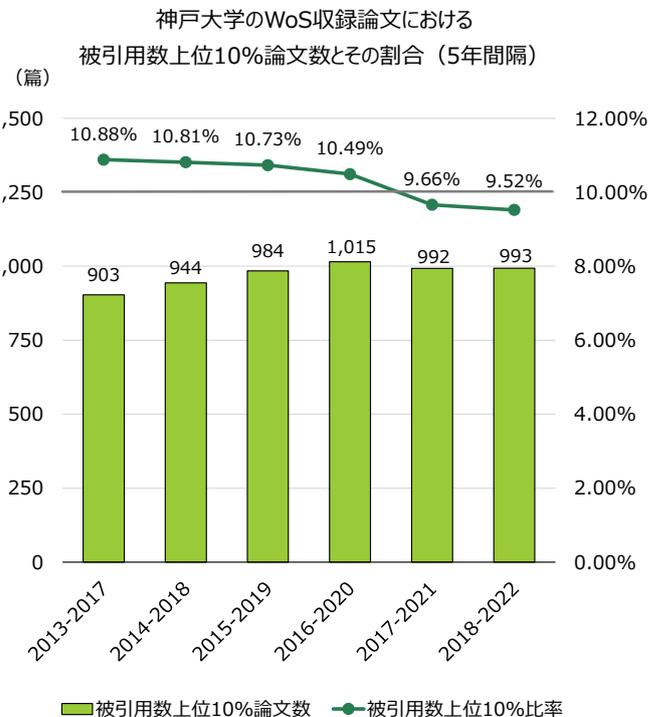
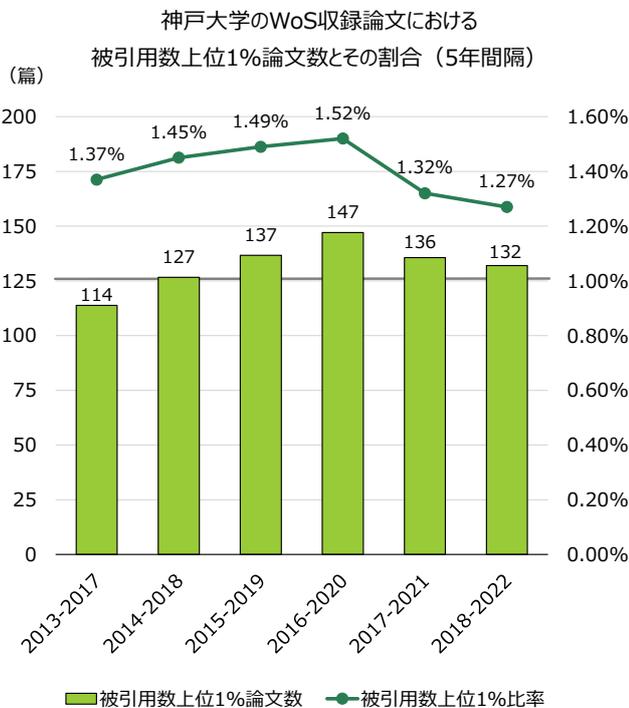
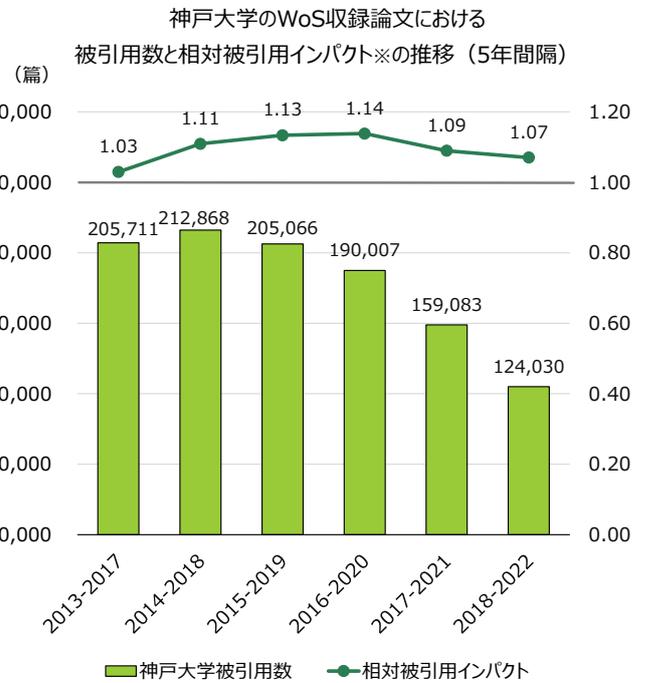
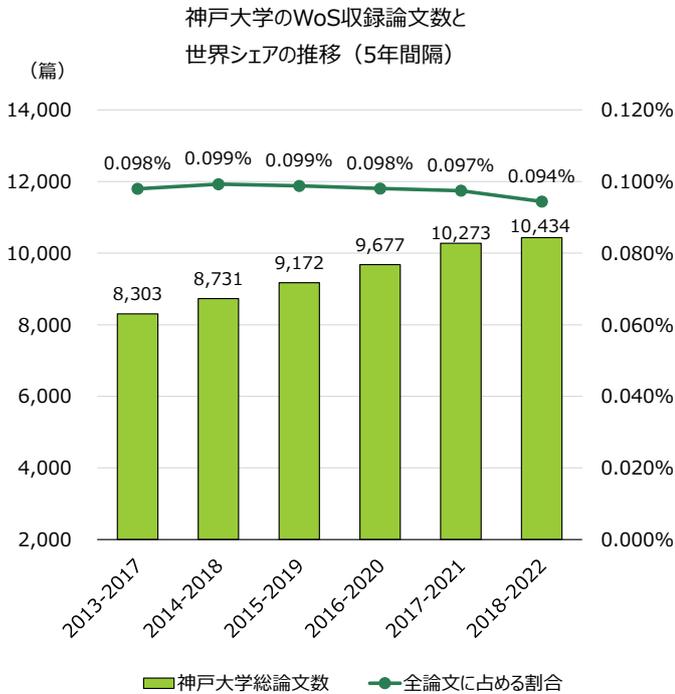


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

# 11. 国際的な研究論文

## 11-2 論文の量と質についての比較 - 推移 -

- 総論文数（左上図）は増加傾向にあるが、世界シェアは若干減少傾向にある。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数及び上位10%論文数はこれまで増加傾向であったものの、最新のデータでは若干停滞している。

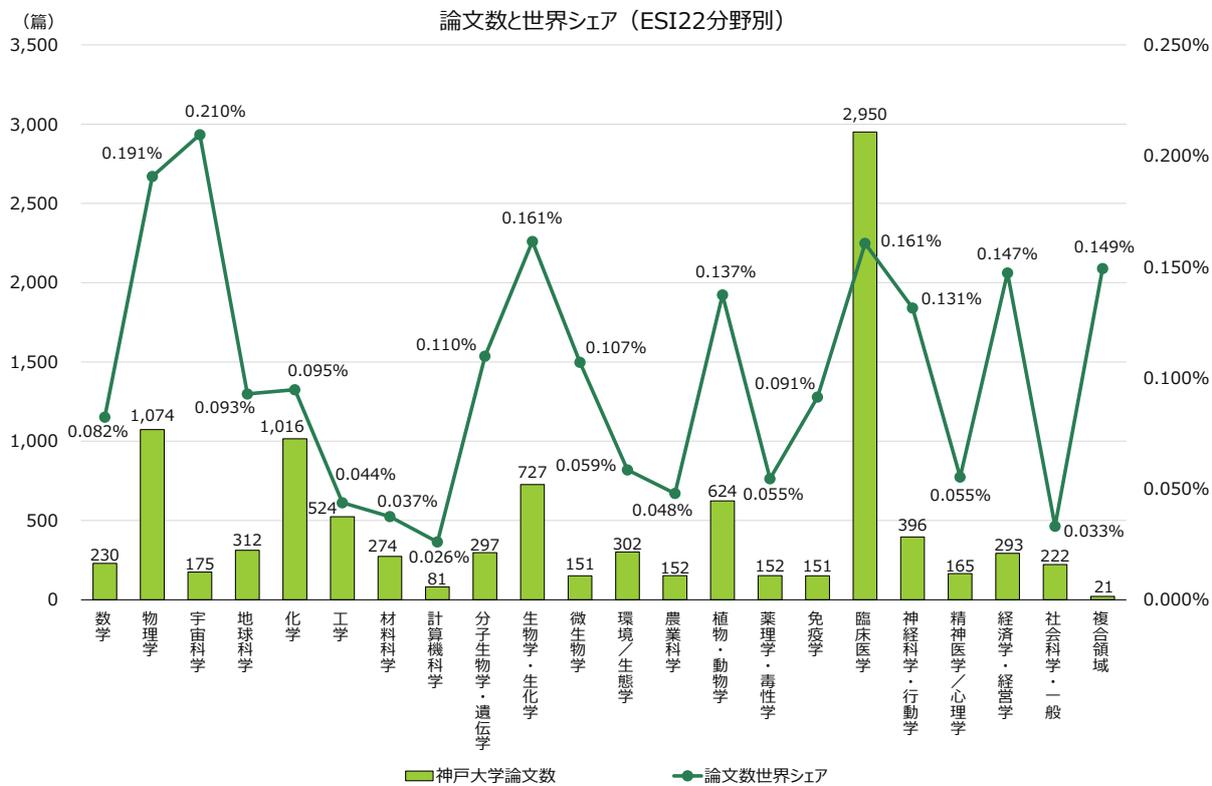


出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2023年8月1日現在の数値である。

※相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

### 11-3 論文の量と質についての比較 – ESI22分野別 –

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクト（下図）が世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が多く生み出されていることを示している。

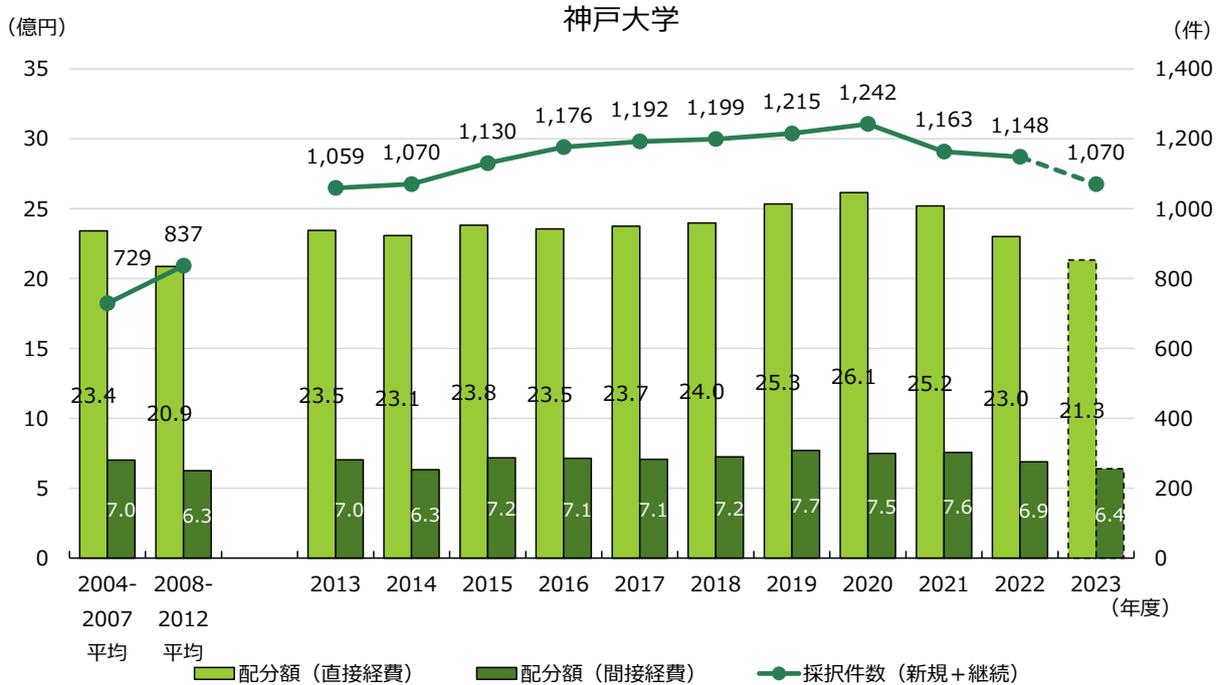


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2018～2022年の2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2023年8月1日現在の数値である。

# 12. 科学研究費

## 12-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にあったが、2021年度以降は配分額及び採択件数が減少傾向に転じている。



※2015年度より「国際共同研究加速基金」を含む。※2023年度は6月現在の数値である。

## 12-7 2019-2023年度科学研究費助成事業新規採択状況

○ 過去5年間の科学研究費（新規採択分）において、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしている中区分は13件ある。特に「経済学、経営学およびその関連分野」については第3位と、高い順位となっている。

大区分	(研究分野)	中区分数	本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	法学およびその関連分野	8	46.0	83,300
			政治学およびその関連分野	7	31.7	62,183
			経済学、経営学およびその関連分野	3	150.0	306,100
C	(工学系科学)	8	航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	8	21.0	70,500
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	9	15.0	48,300
D		7	化学工学およびその関連分野	8	36.0	150,600
			応用物理学およびその関連分野	9	12.0	88,700
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	8	33.0	112,300
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	29.0	86,900
H		3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	24.0	51,800
I	(医歯薬学)	11	内科学一般およびその関連分野	9	107.0	160,100
			生体情報内科学およびその関連分野	10	55.0	101,500
			恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	8	83.0	126,200

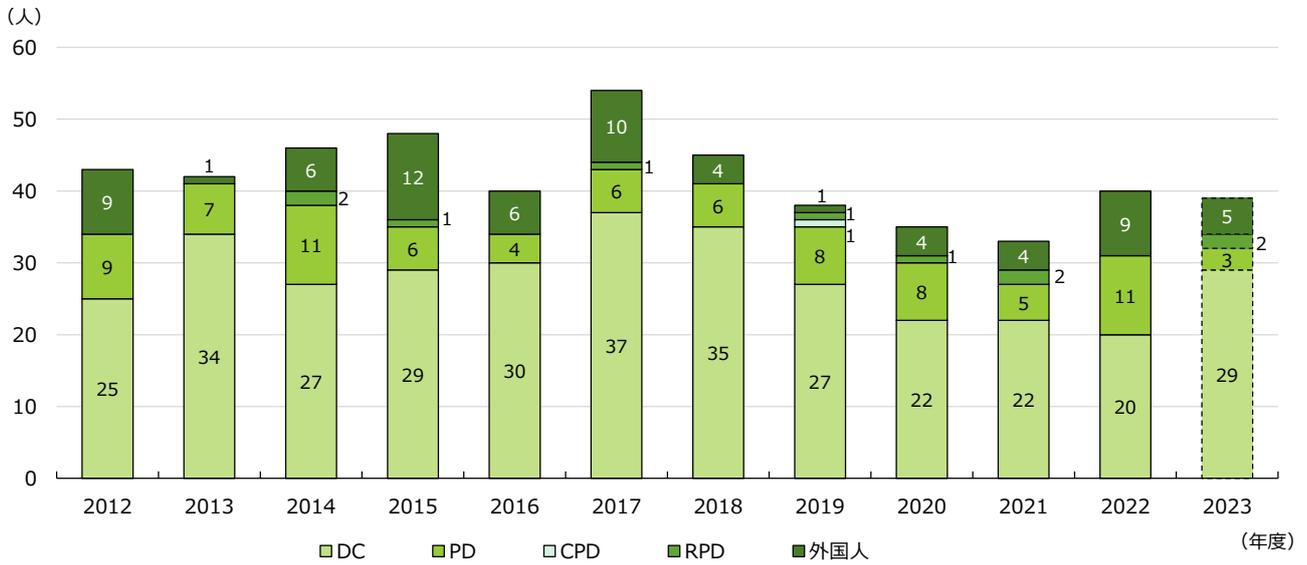
出典：文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」

※2019年度から2023年度科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究(A)」（計画研究及び公募研究（令和5年度追加採択分除く））、「学術変革領域研究(B)」（計画研究）、「基盤研究」（特設分野研究を除く）、「挑戦的研究」（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金(国際先導研究及び国際共同研究強化(B))」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

# 13. 日本学術振興会特別研究員

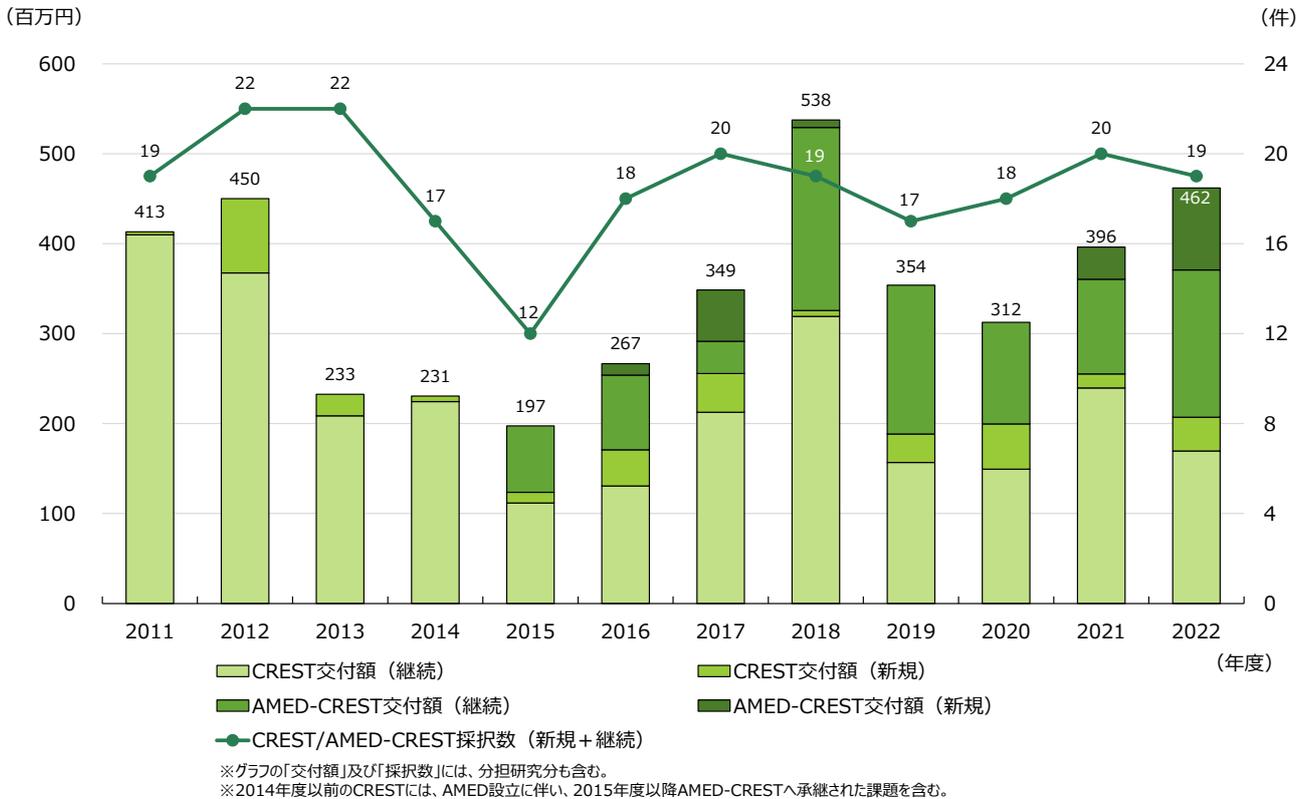
## 13-1 全学の受入れ状況 — 新規 —

○ 日本学術振興会特別研究員の新規受入れ状況については、2017年度以降は減少傾向が続いていたが、2022年度以降は回復傾向にある。

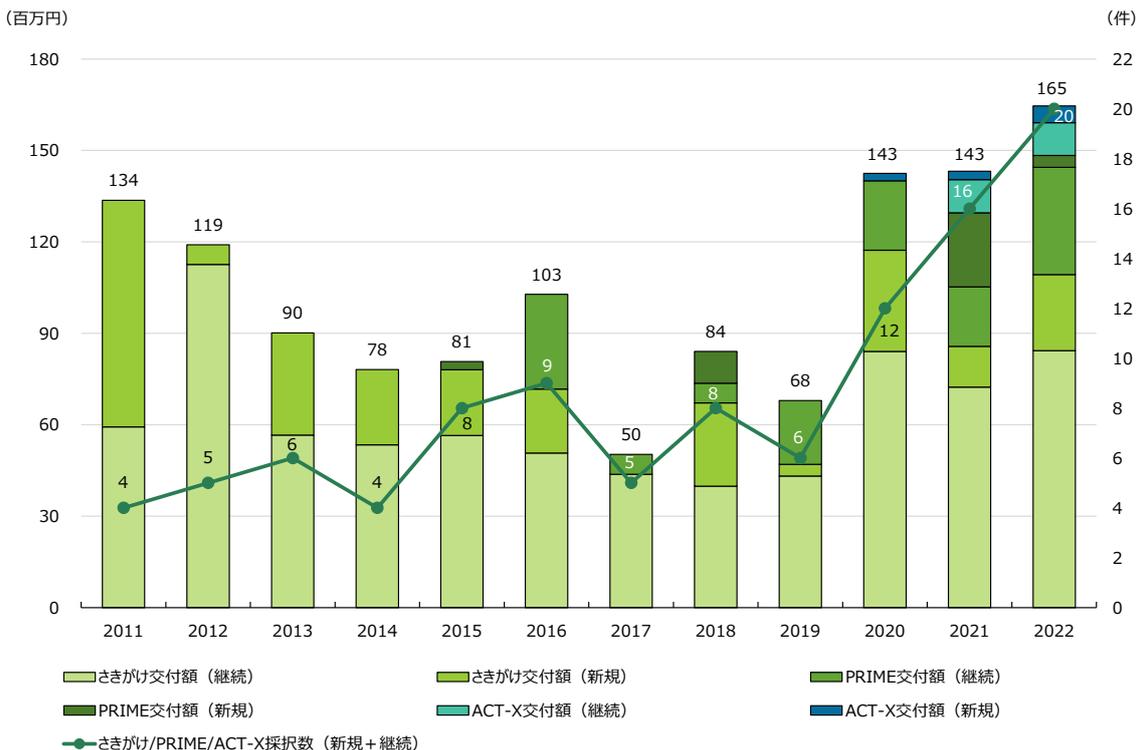


# 14. 研究プログラムの採択状況

## 14-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」



## 14-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」、戦略的創造研究推進事業「ACT-X」



# 15. 研究業績に関する主な受賞

## 15-2 若手教員による受賞状況

2023年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属（受賞時）	職名（受賞時）
【科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞】	末次 健司	2018年	理学研究科	特命講師
	日出間 るり	2018年	工学研究科	助教
	近藤 侑貴	2022年	理学研究科	准教授
	杉本 泰	2023年	工学研究科	准教授

## 15-3 神戸大学出身者による受賞状況

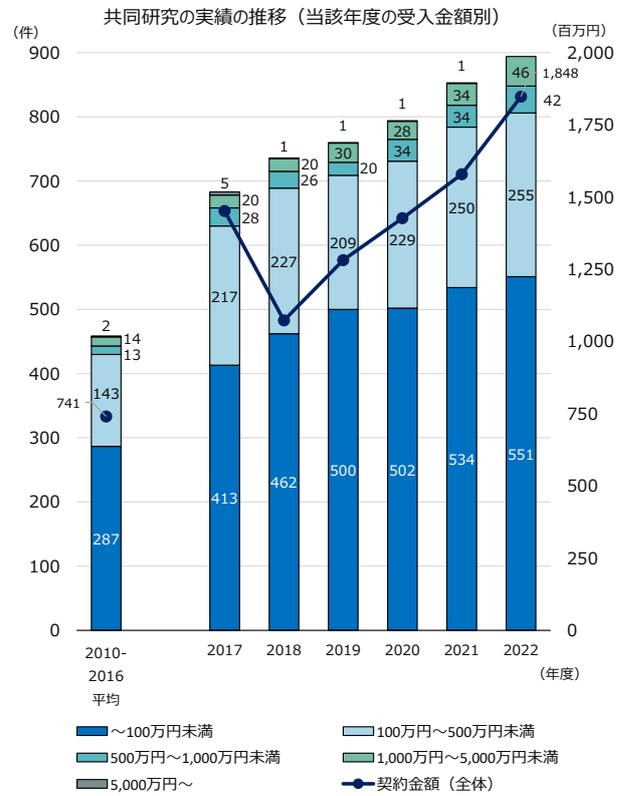
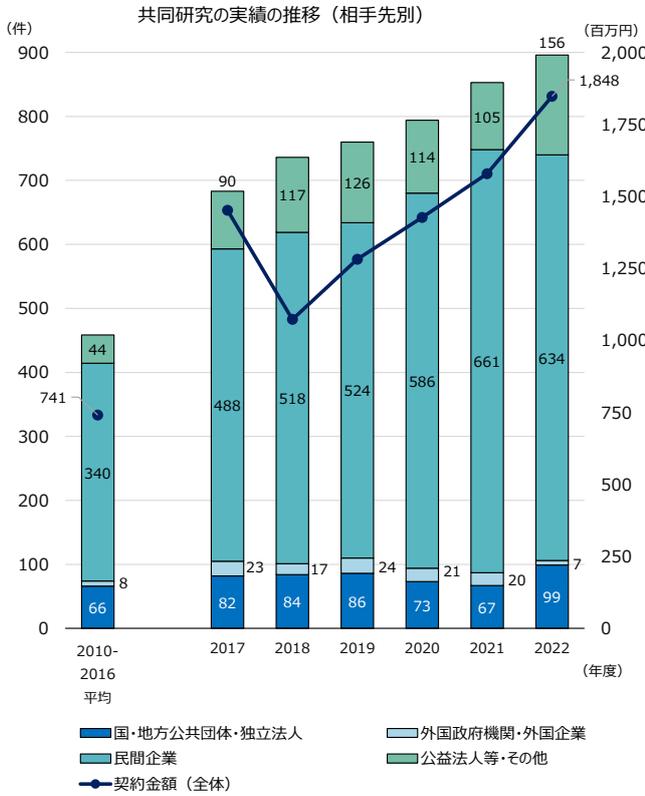
2023年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
岩井 誠三	【紫綬褒章】	-	1989年	兵庫県立医科大学医学部卒 (神戸大学医学部の前身)
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 (神戸大学附属中等教育学校の前身)
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 (神戸大学工学部の前身)
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
	【エリザベス女王工学賞】	-	2022年	
清野 進	【紫綬褒章】	-	2011年	神戸大学医学部卒
	【日本学士院賞】	-	2018年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科（医学博士）
	【武田医学賞】	-	2014年	
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫県師範学校男子部附属小学校卒 (神戸大学附属小学校の前身)
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー国際賞】	-	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
【日本学士院会員】	-	2010年		
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

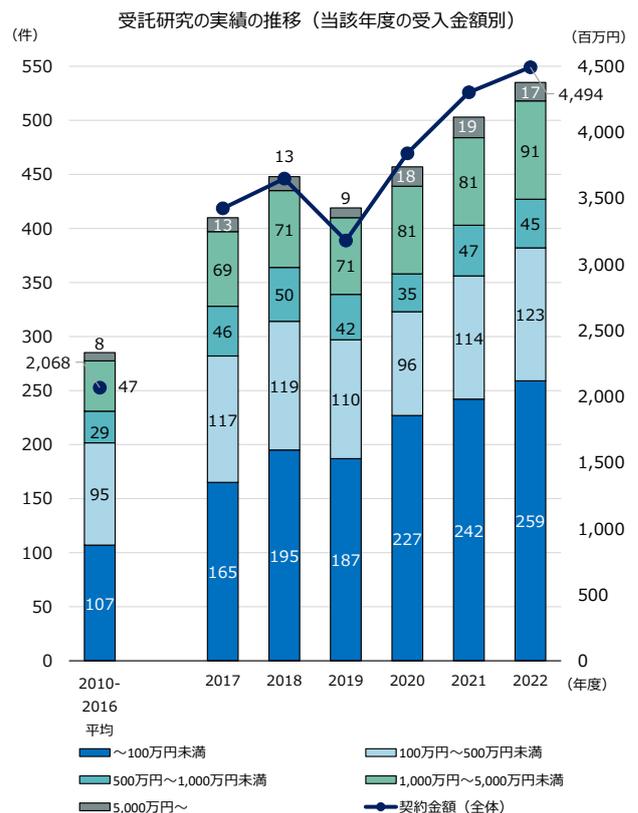
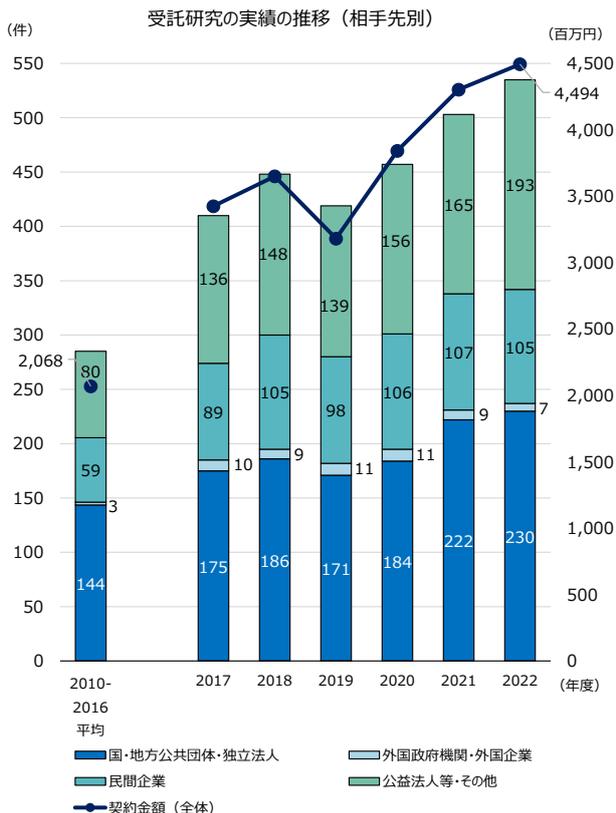
# 16. 産学官連携状況

## 16-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は順調に増加傾向で推移している。2021年度までは「民間企業」との件数の増加が顕著であったが、2022年度は「国・地方公共団体・独立法人」及び「公益法人等・その他」との件数が大きく増加した。
- 共同研究の契約金額は増加傾向が続いており、2022年度は、過去最高額となった。

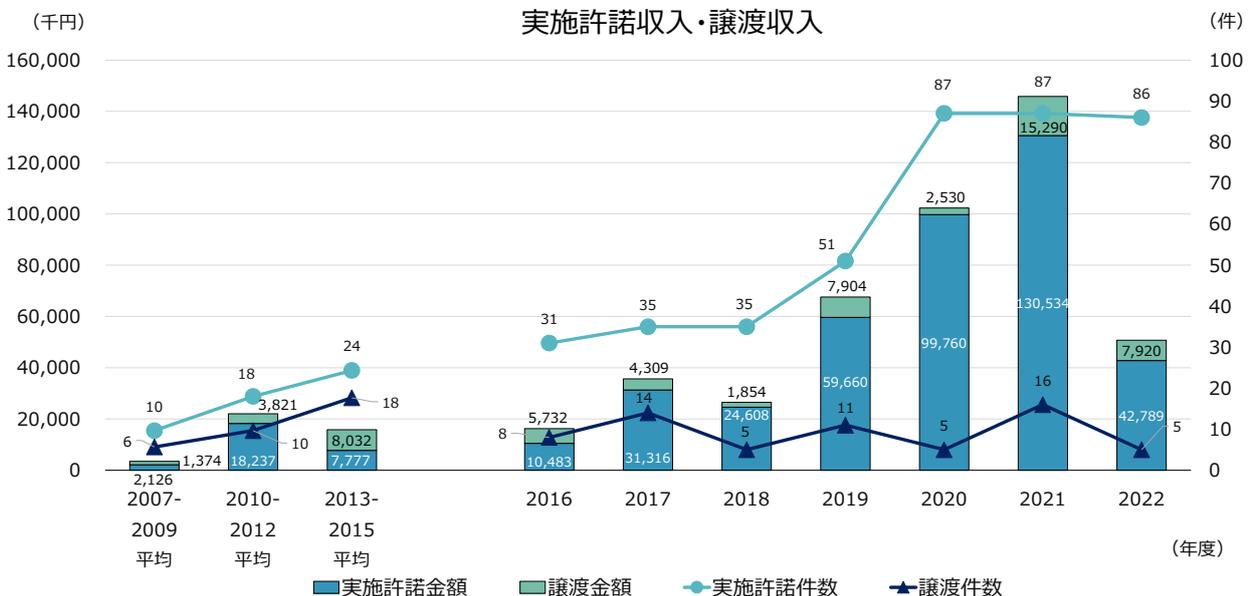
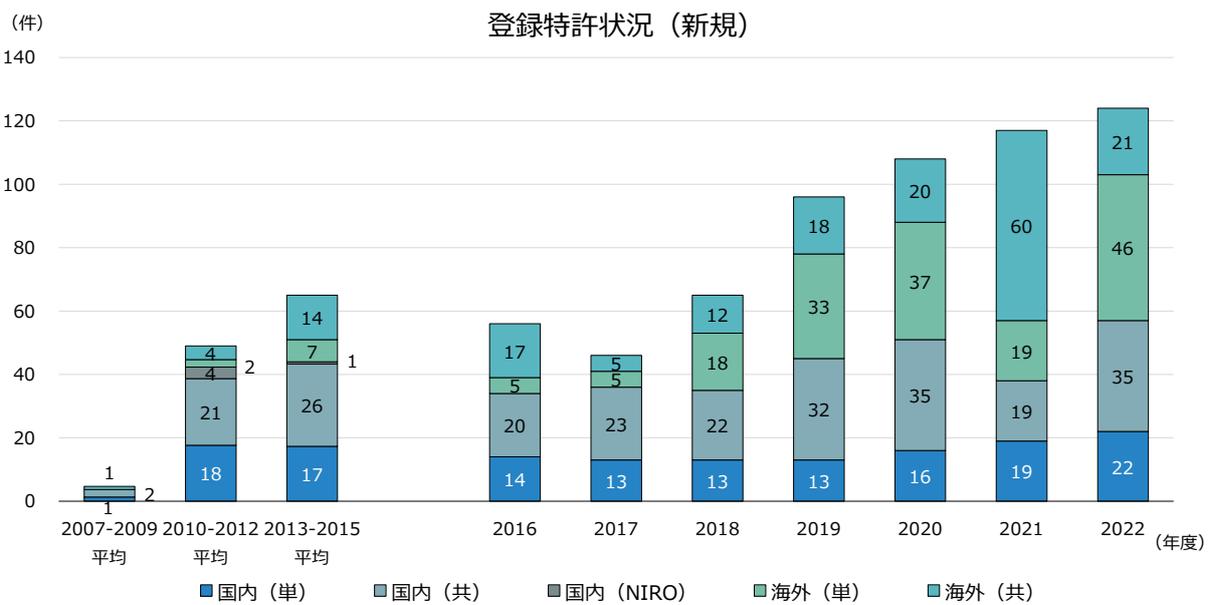


- 受託研究の件数、受入金額は2019年度に一旦減少したが、2020年度以降、再び増加傾向にある。



## 16-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数（上図）は、過去15年間、100件程度/年を安定的に推移している。
- 登録特許（中図）は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は50～70件程度/年を安定的に推移していたが、2019年度以降は増加傾向にあり、2022年度には124件を記録した。
- 実施許諾金額及び譲渡金額（下図）は近年大幅に増加したが、2022年度は低迷した。（ただし、2023年度冒頭に2億9000万円の収入有）

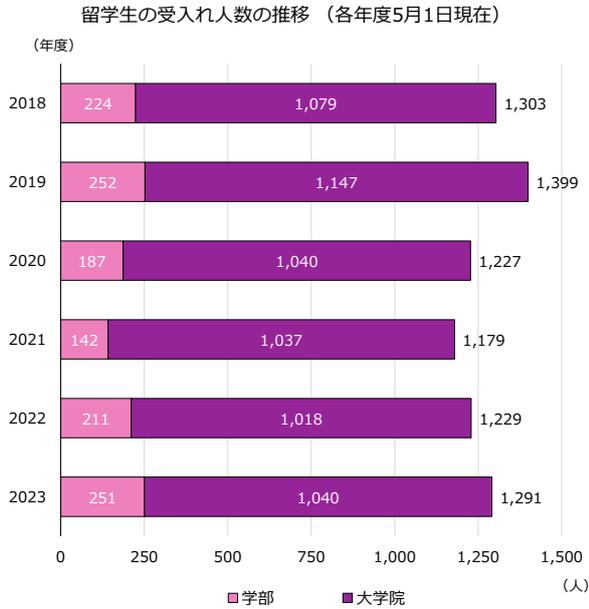


# 20. 留学

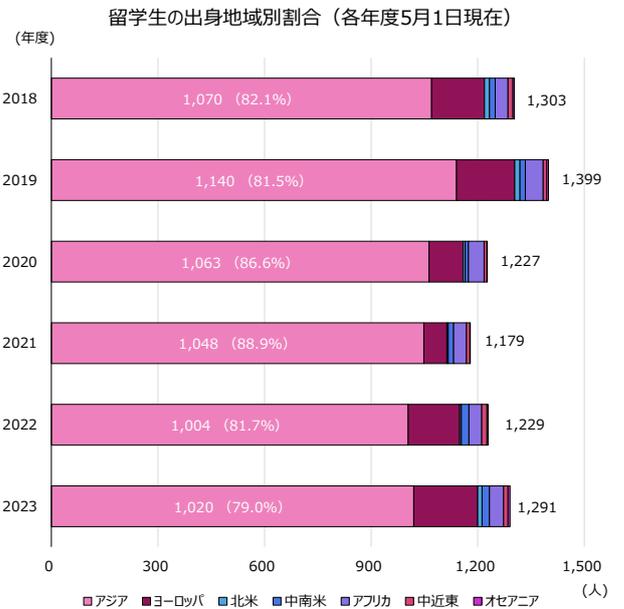
## 20-1,2 外国人留学生受入れ状況

○ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の受入れが減少したが、本学においては2022年度、2023年度と受入れが回復している。

### ◆在籍段階別◆



### ◆地域別◆

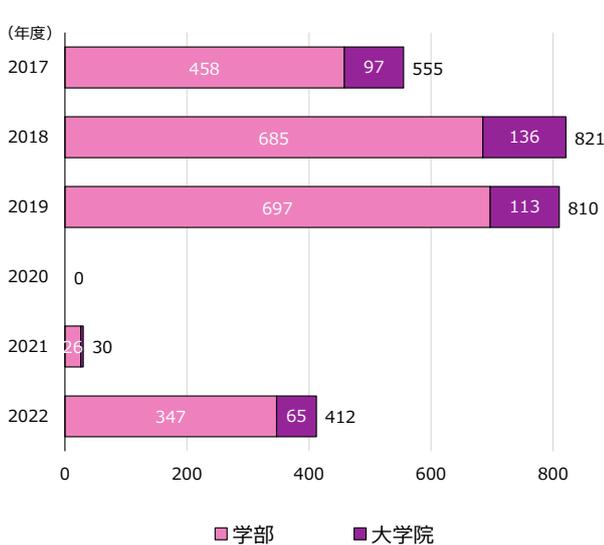


※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

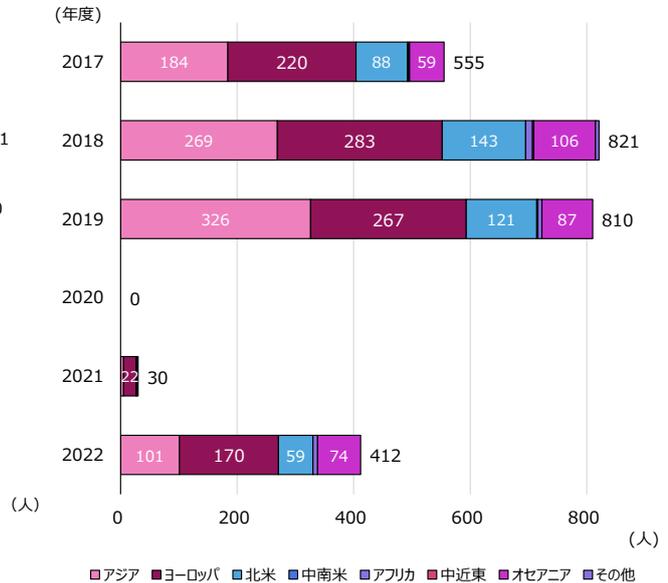
## 20-5,6 学生の海外派遣状況

- 新型コロナウイルス感染症蔓延により2020年度、2021年度と派遣人数は激減した。しかしながら、2022年度の本学の派遣人数は2019年度の半分程度まで回復した。
- 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると、神戸大学は相対的にヨーロッパやオセアニアへの派遣比率が高く、一方で北米への派遣比率が低めになっている。

### ◆在籍段階別◆



### ◆地域別◆

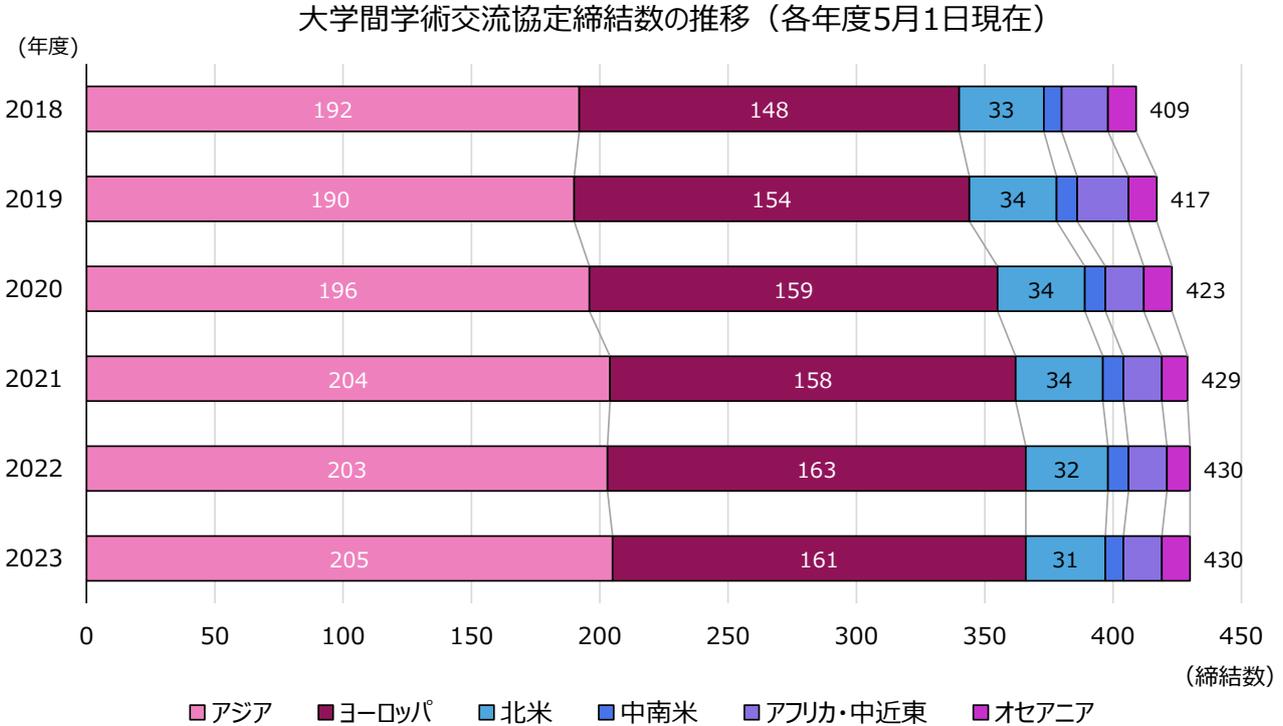


※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。  
※単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

# 21. 海外大学との交流状況

## 21-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

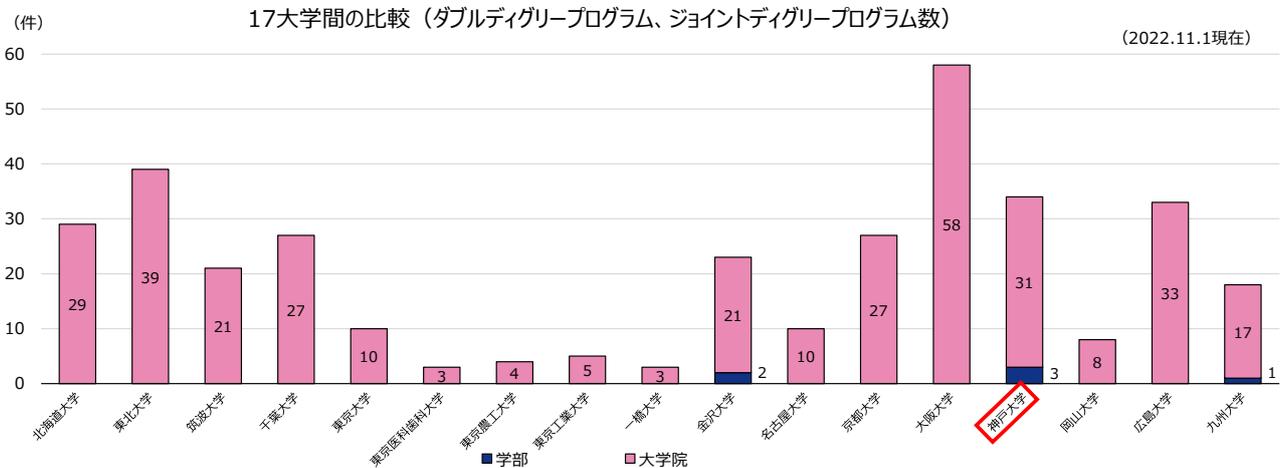
○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア、ヨーロッパが全体の8割超を占めている。



## 21-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

－ 17大学間の比較 －

○ 国立大学法人運営費交付金の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」のグループ分けによる、グループ④及び⑤に属する国立大学17校のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると3位であった。

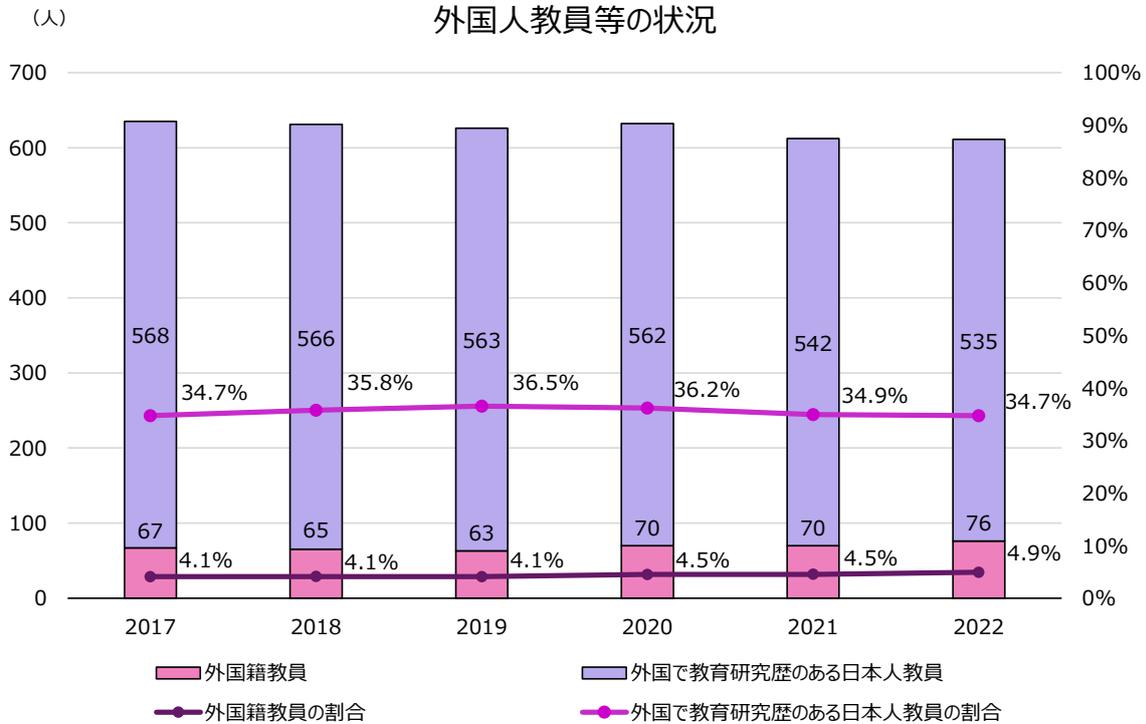


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

# 22. 外国人教員・研究者等交流状況

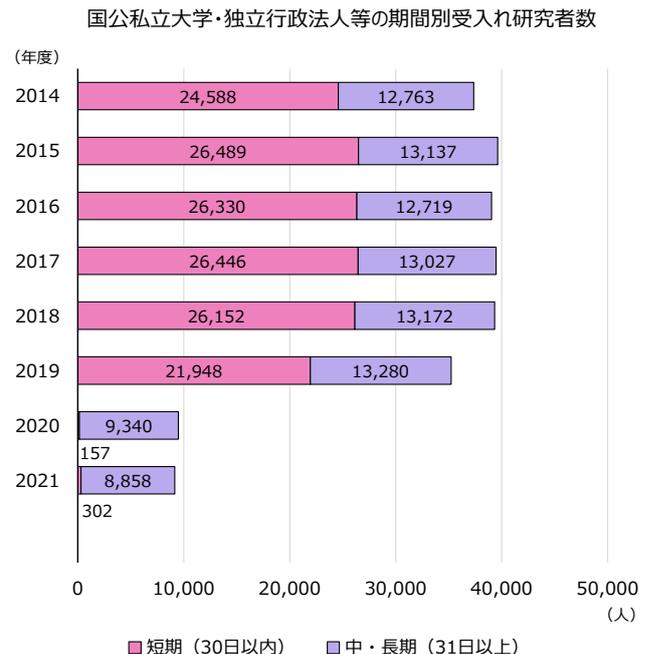
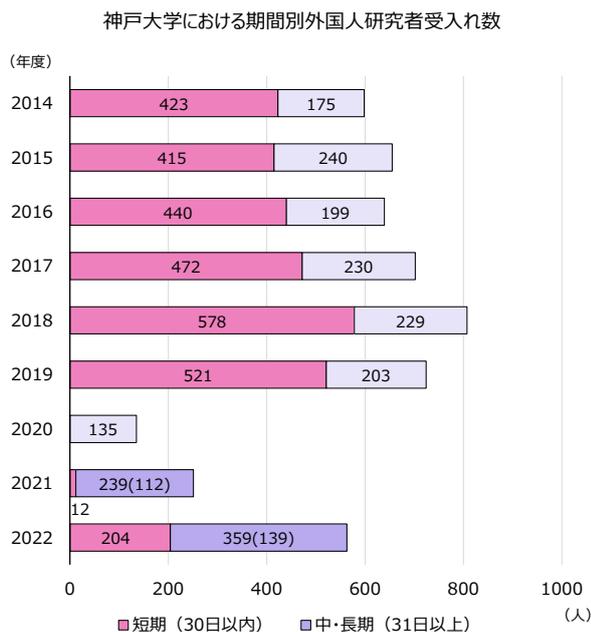
## 22-1 外国人教員等の状況

- 2022年、外国籍教員数が過去最高となった。
- その一方で、外国で教育研究歴のある日本人教員数は、ここ数年停滞している。



## 22-2 外国人研究者受入れ数の推移

- 本学における外国人研究者受入れ数については、2014年度以降は600～800名程度を推移していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期受入れ数、中・長期受入れ数ともに大幅に減少した。その後、徐々に回復傾向が見られる。

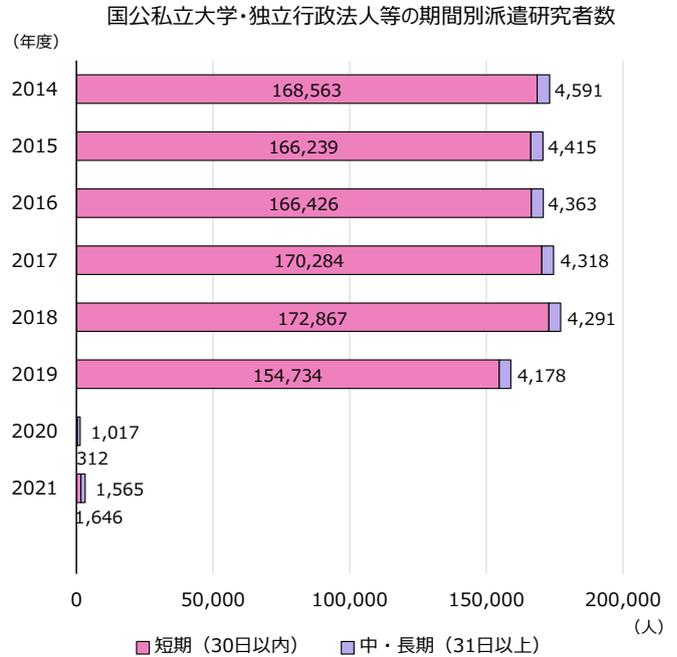
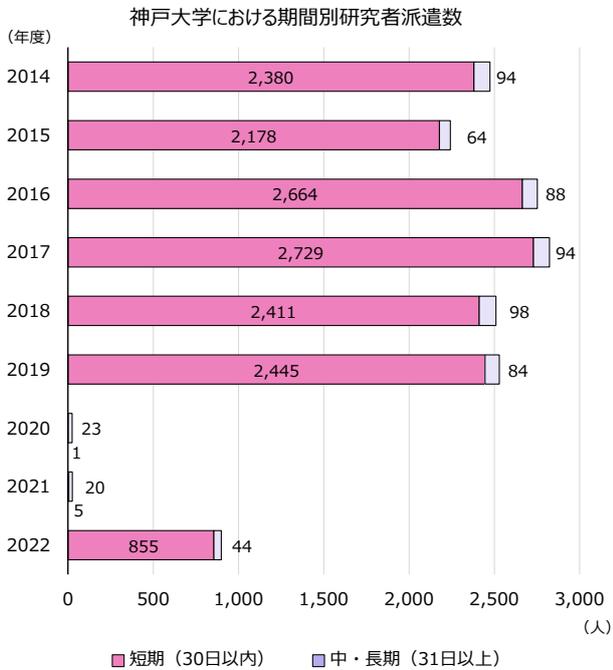


2020年度までは学生を除いた数値、2021年度以降は一部の学生(※)を含んだ数値(括弧内の数字は学生の内数を示す)。  
 ※雇用契約を締結し、職務を与え研究に従事している博士課程在籍学生。

出典(右): 文部科学省「国際研究交流の概況」

### 22-3 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、近年は2,500人超で推移していたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により短期派遣数及び中・長期派遣数ともに大幅に減少した。2022年度は以前の水準には満たないものの、回復傾向が伺える。



出典（右）： 文部科学省「国際研究交流の概況」

# 27. 教員

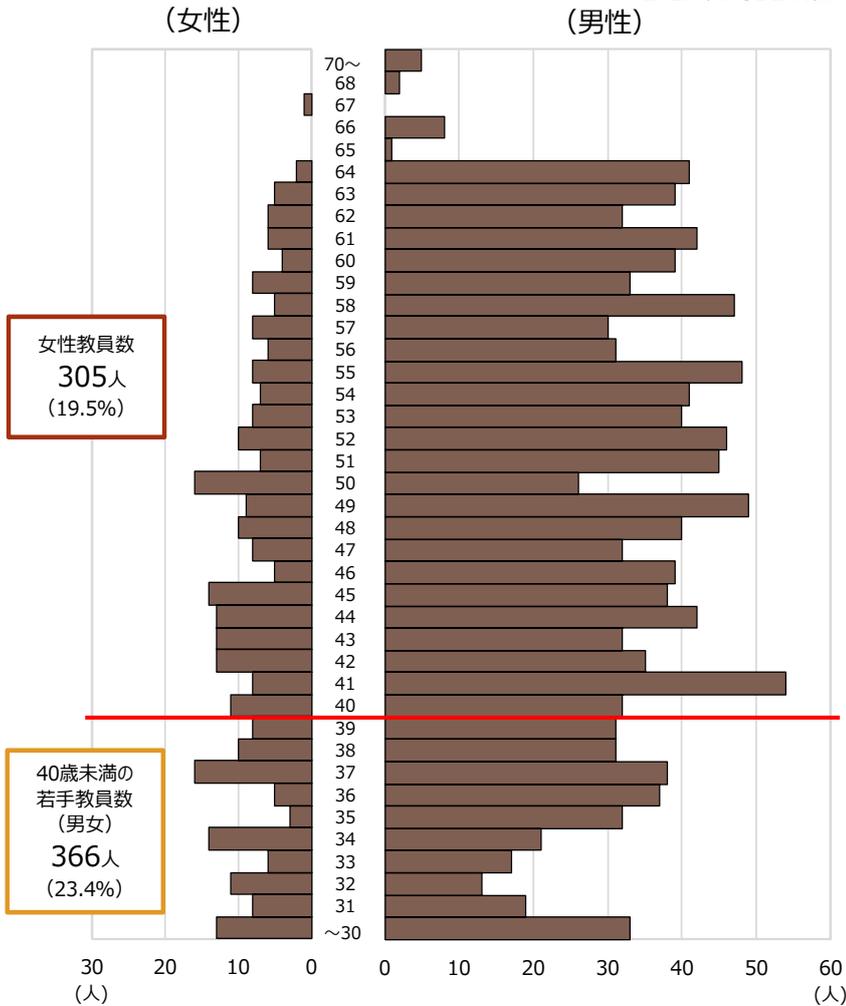
## 27-2 若手教員・女性教員等の推移等

- 年齢が高くなるほど男性の比率が高くなっている。
- 40歳未満の若手教員数・比率（右上図）は、2020年度以降増加傾向にある。
- 女性教員（右中図）については、2018年度に比率が減少したものの、その後は増加傾向にある。

各年度5月1日現在

### ◆男女別・年齢別・職種別教員数◆（神戸大学）

2023年5月1日現在



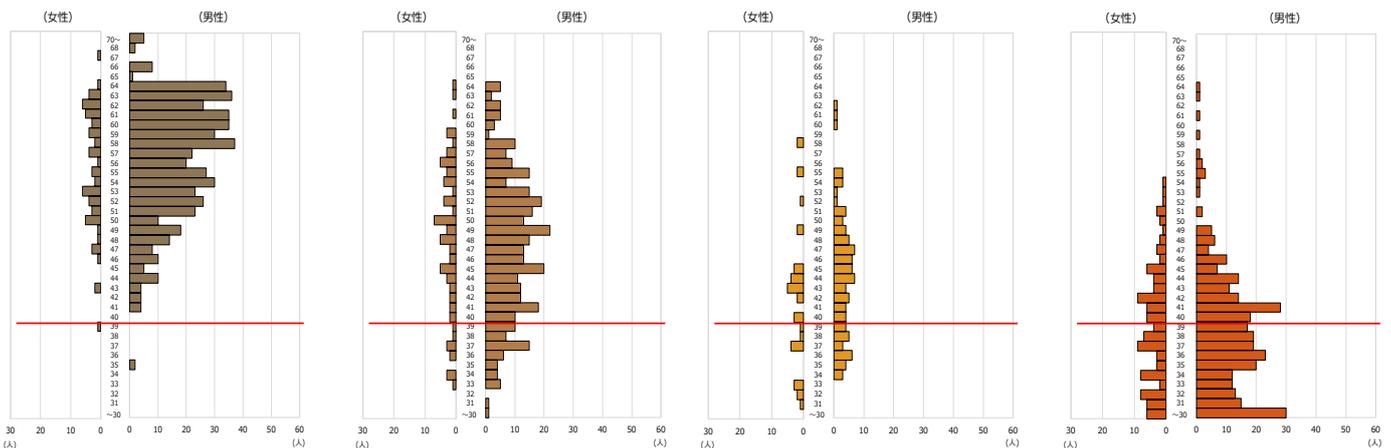
（職位別内訳）

教授（572人）

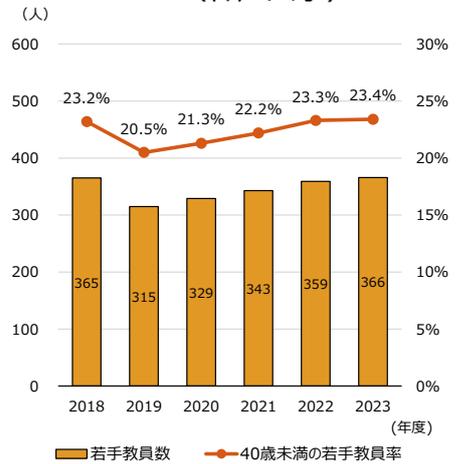
准教授（405人）

講師（131人）

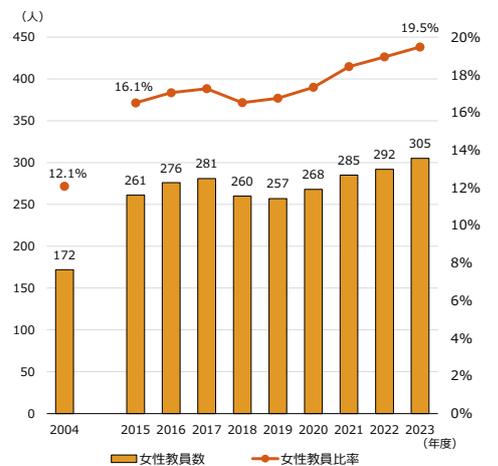
助教（418人）



### ◆若手教員数・比率の推移◆（神戸大学）



### ◆女性教員数・女性教員比率の推移◆（神戸大学）



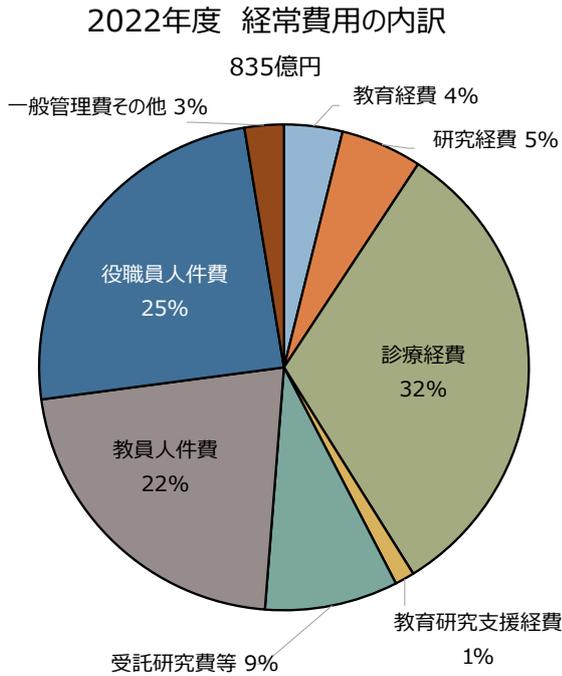
※その他：助手（40人）

※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

# 29. 財務

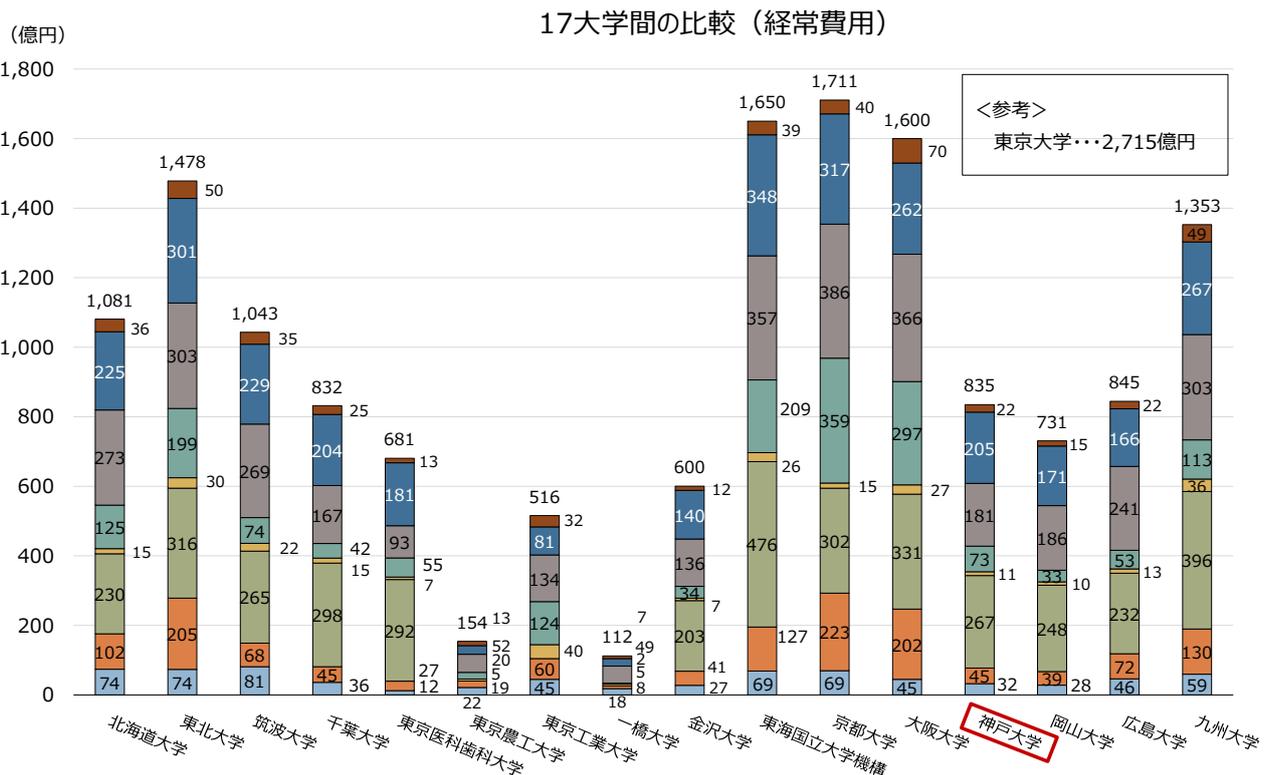
## 29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると（右上図）、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費や職員人件費の規模も大きく増加している。一方、教員人件費は法人化当初を下回った。



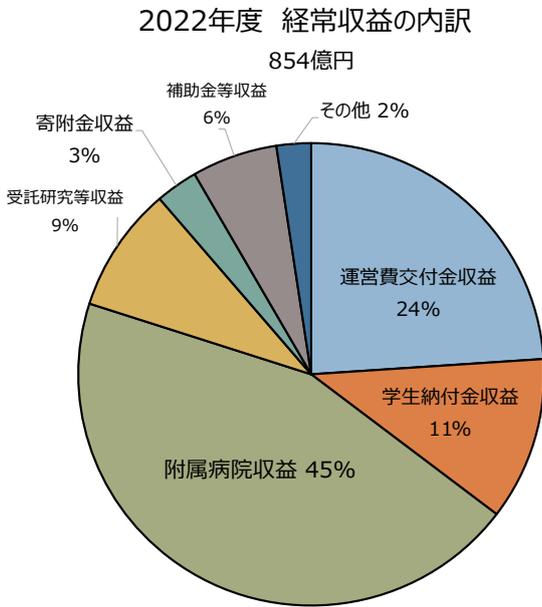
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。

(2022年度)

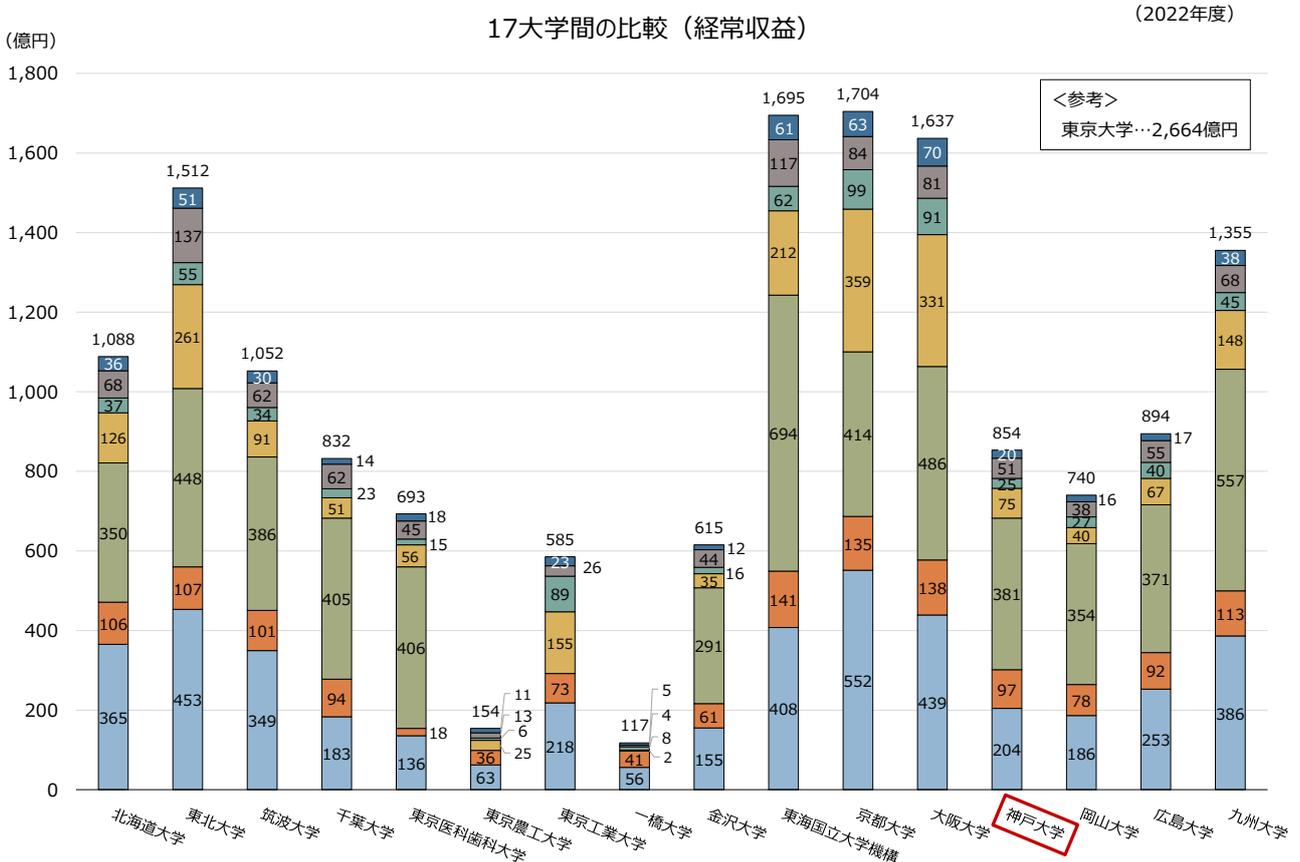
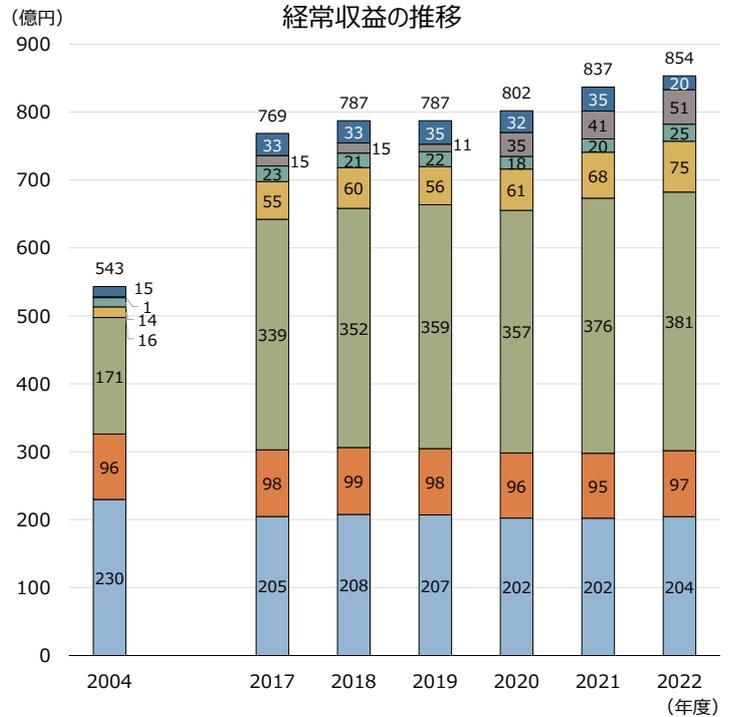


○ 附属病院収益や受託研究等収益が増加していることに伴い、経常収益の規模（右上図）は2004年度に比して1.5倍以上に増加している。

- 運営費交付金収益
- 学生納付金収益
- 附属病院収益
- 受託研究等収益
- 寄附金収益
- 補助金等収益
- その他



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が一致しないもの、また合計が100%にならないものもある。







**神戸大学企画部企画課**

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: (078) 803-5020